

機械器具7 内臓機能代用器
高度管理医療機器 チタニウムアダプタ 70588000

バクスターカテーテルエクステンダー

再使用禁止

【警告】

本品と腹膜透析用カテーテル等との接続は、無菌的に行うこと。[無菌的に操作しないと、腹膜炎を併発する危険性がある]

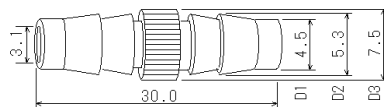
【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止

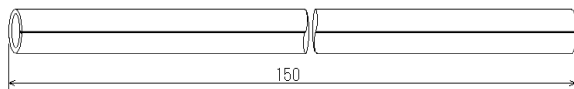
【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、腹膜透析用カテーテル末端（体外側）の延長を目的として使用する、延長コネクタと延長カテーテルより構成される。
- * 2. 本品はエチレンオキサイドガス滅菌済みである。

延長コネクタ



延長カテーテル



〈材質〉

延長コネクタ：チタン
延長カテーテル：シリコーンゴム

〈原理〉

腹膜透析用カテーテルの末端に接続することで、カテーテル末端の長さを延長させることができる。

【表1. 主要寸法】

	内径	外径 (D1)	外径 (D2)	外径 (D3)
延長コネクタ	3.1mm	4.5mm	5.3mm	7.5mm

【使用目的又は効果】

腹膜透析用カテーテルの末端に接続し、カテーテルを延長させる目的で使用する。

【使用方法等】

1. 一般的使用方法
 - 1) 延長させる腹膜透析用カテーテルとチタニウムアダプターを、接続チューブの交換と同様の手順で消毒し、カテーテルにカテーテルクランプを装着する。
 - 2) 常法により、腹膜透析用カテーテルよりチタニウムアダプターと接続チューブを取り外す。
 - 3) 滅菌済のチタニウムアダプターを準備した後、延長カテーテルを接続し、ロックナット部を最後まで締め、延長カテーテルとチタニウムアダプターを確実に固定する。
 - 4) チタニウムアダプターを固定した延長カテーテルの他端に、延長コネクタを差し込む。
 - 5) 延長させる腹膜透析用カテーテル端を確認し、亀裂等がある場合は、その部分を切除する。
 - 7) 延長コネクタ（延長カテーテル及びチタニウムアダプターが接続されているもの）を、腹膜透析用カテーテルに接続する。
 - 8) 外れ防止を目的として、腹膜透析用カテーテルと延長カテーテルの上からそれぞれ2カ所を糸で結紮固定する。

- 9) 常法により、新しい接続チューブをチタニウムアダプターに接続する。
- 10) 液漏れのないことを確認し、腹膜透析用カテーテルに装着したカテーテルクランプを取り外す。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- ** 1) 延長カテーテルをクランプする際は、金属製鉗子類を使用しないこと。[延長カテーテルはシリコーンゴム製であり、傷が生じることで強度が著しく低下するため、傷が生じると、カテーテル破損の原因となる]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 本品は、腹膜透析用カテーテル再留置までの短期間の使用に留めること。
2. 本品を腹膜透析用カテーテルに接続する操作は、患者の腹腔内に透析液が入った状態で行うこと。
3. 延長コネクタによる延長部分は、腹膜透析用カテーテル及び延長カテーテルが外れないよう、各カテーテル上から糸で縛る等適切な処置を施すこと。
4. 本品の各接続部は、使用中に緩み等の異常が生じることがあるので、異常が生じた場合は締め直し又は交換等適切な処置を施すこと。
- * 5. 使用にあたり、以下の内容に注意し、患者にも指導すること。
 - * 1) 延長カテーテルをポピドンヨードで湿潤させたままにすると早く劣化するので、消毒後は乾燥させること。
 - * 6. 使用にあたり、以下の内容で患者に指導すること。
 - * 1) 接続部からの液漏れ等の異常が生じた場合は、注排液をせず、速やかに医療機関に連絡し、医師の指示に従うこと。

* 〈不具合・有害事象〉

- * 1. 重大な有害事象
 - ・ 腹膜炎

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間

使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927

発 売 元 バクスター株式会社
TEL 03 (6204) 3700